

No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・個人の資料や情報は社内クラウド上に保管するなどの場所でも業務が行えるよう整備済 テレワークを積極的に推進し、 事務所内でフリーアドレス化を計画、実施予定								●	●		●	●					
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信					●				●		●							
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	健康経営の推進(2025年3月「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」に選定) ・オンライン禁煙サポートプログラムの導入、年1回の外部システムによるメンタルヘルス(ストレス)チェックの実施 ・女性特有の健康関連課題を目的としたプログラム(フェムテック)を導入 ・労働環境の整備、健康促進に関する補助金支給 ・運動サークルへの補助金支給、歩数計アプリを使用したウォーキングイベントの実施 ・休業規程の整備(私傷病における長期療養者の職場支援プログラム)			●					●									
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・メンター(ＯＪＴ)研修、管理職研修、所属部門別研修、中堅社員研修等を実施 ・LABOの設立(リベラルアーツの研究を通して人間力を磨き将来に見識を持った人への成長を促し、事業所や部門、職種や年齢性別を超えて新しい人間関係を構築) ・『新 みらい塾U-34』(若手社員を対象にビジネス哲学の醸成を促す「学び」の場を設け、その知識を活かして事業提案に「チャレンジ」するカリキュラム) ・資格取得(合格)者への祝金制度、社外セミナーへの費用補助等				●				●									●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・「パートナーシップ構築宣言」への参画 ・定期的に取引先アンケート調査を実施 ・大和ハウスグループ企業倫理綱領、行動規範の策定 ・大和ハウスグループ調達基本方針の策定 ・「サプライチェーンサステナビリティガイドライン」の策定								●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サステナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・2019年6月大和リースSDGs 基本方針を制定(「会社は社会の公器である」「何をすれば儲かるかではなく、将来にわたり世の中の人々が何を求めているかで事業をおこす」といった創業者精神を継承し社会の課題を解決する商品やサービスを提供)し、自社の経営資源を活用したビジネスによりSDGsを推進し新たな価値創造を目指すべく「VISION 2030」を策定 ・2020年4月「SDGs 推進委員会」を発足(進捗状況と策定したSDGs 成長戦略の妥当性、継続性を確認し全社に発信)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	大和リース サステナビリティ https://www.daiwalease.co.jp/corporate/sustainability/												●					
17	自由 記述	環境 ・ 経済 ・ 社会																			

※現在実施している具体的な取組又は**今後実施予定の取組**について、以下の2点を満たしたうえで提出してください。

- ①経済・社会・環境の3つの側面それぞれについて、取組を設定していること
- ②10項目以上記載すること